

検知流量定数80、不作動水量15L/minの流水検知装置『NKVⅢ型』を販売開始しました

従来より提供させていただいております『NKVⅡ型流水検知装置(検知流量定数50・60併用、不作動水量0.5L/min)』に加え、このたび『NKVⅢ型流水検知装置(検知流量定数80、不作動水量15L/min)』の型式を取得しました。つきましては、従来製品の『NKVⅡ型』と変更製品の『NKVⅢ型』との両機種を、今後ご提供させていただくこととなりますので、その旨お知らせいたします。

既に当社ホームページ上にてお知らせのとおり、従来製品(NKVⅡ型及びNKVⅢ型)では補助加圧ポンプが起動した際に誤警報が出てしまう場合があります、お客様にはご心配をお掛けしております。これらの対応として、15L/minの不作動水量を確保することを目的とし、検知流量定数80の『NKVⅢ型』の型式を取得いたしました。

なお、この『NKVⅢ型流水検知装置』におきましては、小区画型ヘッド及び補助散水栓には対応しておりませんのでご了承願います。

ご参考までに「検知流量定数と同一配管系の組み合わせ」表を以下に示しますので、ご参照のうえ、同一配管系に設置する閉鎖型スプリンクラーヘッドの種別、及び補助散水栓の有無をご確認の後、機種のご選定をお願いいたします。

ご注意：本製品の不作動水量は15L/min以下(申請値)、警報の遅延時間は平均10(7～13)秒間です。この不作動水量以上の水等が本体内を遅延時間以上通過し続けた場合には作動警報が出ます。

検知流量定数の区分	作動特性 / 同一階の配管系の組み合わせ
80 『NKVⅢ型』	通常閉鎖型ヘッド等が作動放水した場合に検知するもので、80L/minの水量を検知して作動警報を発します。 ----- 標準型ヘッド(放水量80L/minのもの)、側壁型ヘッド
50・60併用 『NKVⅡ型』	補助散水栓による放水、または小区画型ヘッド(50L/min)の作動放水を検知して作動警報を発します。 ----- 標準型ヘッド(放水量80L/minのもの)、側壁型ヘッド、 小区画型ヘッド、及び補助散水栓
60	補助散水栓により放水が行われた場合に検知するもので、使用圧力に関わらず60L/minの水量を検知して作動警報を発します。 ----- 標準型ヘッド(放水量80L/minのもの)、側壁型ヘッド、及び補助散水栓
50	共同住宅用の小区画型ヘッドが作動放水した場合に検知するもので、50L/minの水量を検知して作動警報を発します。 ----- 標準型ヘッド(放水量80L/minのもの)、側壁型ヘッド、及び小区画型ヘッド